事例No.	206
公表年度	H28
団体の属性	都道府県
団体名	千葉県

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・公共施設活用

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

県による用水供給事業の統合（経営統合・事業統合）

出典

公営企業の経営のあり方に関する研究会

〔広域化等〕県による用水供給事業の統合（千葉県）①

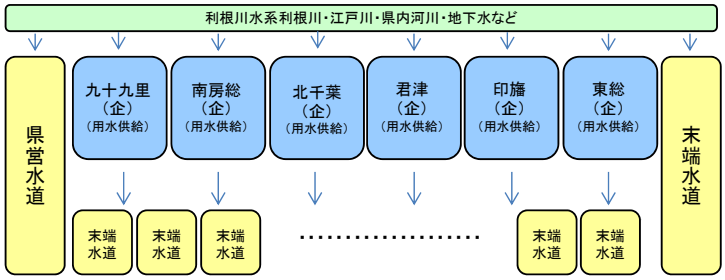
資料1－2

1　概要

○　千葉県内には、県営水道（末端給水のみ）、６企業団による用水供給事業、市町村営・一組による末端給水事業（40団体）が存在。

○　地理的、地形的要因から、全体として水資源に恵まれていないが、特に九十九里地域、南房総地域は水資源が乏しく、利根川から房総導水路により供給していることから、他の地域に比べ水道用水供給料金が高い。県からの補助金を交付後も、県内で末端給水料金に３倍の格差あり。

＜現況＞





〔広域化等〕県による用水供給事業の統合（千葉県）②

2　取組方針（九十九里・南房総地域）

◎　経営統合（第1ステップ）から事業統合（第2ステップ）へ段階的に進めていく。

【第1ステップ：経営統合】
- 県が従前の地域（県営水道地域、九十九里地域、南房総地域）別で事業を運営
- 県及び市町村の一般会計の負担は現行と同水準

【第2ステップ：事業統合】
- 事業（会計）を一本化し、用水供給料金の平準化を図る。
- 用水供給料金平準化のために必要となる新たな財源措置は、県と九十九里地域・南房総地域の市町村で負担。

◎　統合の効果を地域全体で享受するため、併行して末端給水事業の統合についても検討を進める。
- 末端給水事業の統合について、関係市町村が合意することを前提に、第1ステップ（経営統合）に進む。
- 末端給水事業の統合後、第2ステップ（事業統合）に進む。
- 末端給水事業体の統合・広域化を推進するとともに、事業統合効果を活かすため、県として、末端給水事業体の統合後、初期投資費用などについて短期的な補助制度を検討

※君津地域においても、末端給水事業の統合等を検討

